

学校だより



新見市立矢神小学校 令和2年度 3月号

- やる気を出して学ぶ子
- がまん強く続ける子
- みとめ合って力を合わせる子

◇ご支援ご協力ありがとうございました◇

今年の冬は、寒い日が多かったです。昨年と比べて雪も多く降りました。

3月5日は「啓蟄」です。土の中で冬眠していた虫たちも目覚め、活動を始める時期になりました。校庭の木々のつぼみも膨らみはじめ、春の訪れを確実に感じることができます。校庭で遊ぶ子ども達に注ぐ光は、すっかり春の色になってきています。「春は光から」と実感できるこの頃です。



令和2年度も、残すところ1ヶ月となりました。学校では、子ども達の希望に満ちた進級・進学に向けて、最後のまとめをしているところです。

保護者の皆様、また、老人クラブ、哲西地域安全会の皆様をはじめ、地域の皆様には、この1年間、学校教育へのご支援・ご協力をいただきまして大変ありがとうございました。今年度、コロナウイルス対応に追われる日々が多くありました。保護者・地域の皆様に、普段と異なる対応にご協力をいただくことも多くありました。でも、コロナ禍の中、充実した教育活動ができたのではないかと、思います。今年度の残された一日一日を大切に、しっかりと4月の進級に向けて子どもたちの心の準備ができるようにしていきたいと、思います。

この1年間、いたらぬ指導が多々あったかと思いますが、保護者・地域の皆様の温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◇6年生のみなさん、卒業おめでとう◇

今月の24日（水）に卒業式があります。3名の6年生が卒業を迎えます。6年生は、たてわり班そうじ、学校行事（運動会や学習発表会、ふれあい集会等）などで、リーダーとして活躍しました。また、毎日の登下校では、最上級生として下級生の安全に気をつけてくれました。陸上の練習にも下級生に一生懸命な姿を見せてくれました。



6年生は3名と多い人数ではありませんが、一人一人が自分の役割を果たそうと真面目に一生懸命に頑張りました。そして、機関車として、矢神小学校を引っ張ってくれました。

6年生は、4月からは中学生です。しっかりと自分の将来を見据えて、勉強や運動を頑張してほしいと、思います。

困難にくじけない「強い心」と周りの人に感謝する「やさしい心」を持って、将来を生き抜く力を育ててほしいと、思います。卒業生の皆さん、「七転八起」です！

～3月の行事予定～



日	曜	行事等の予定	下校時刻
1日	月	全校集会	16:00
2日	火	参観日 愛育会総会	14:25
3日	水	きらめきタイム 職員会議	15:20
4日	木	市P連哲西支部総会18:30	16:00
5日	金		16:00
6日	土		
7日	日		
8日	月	学級集金日 (体育館使用不可～4/12)	16:00
9日	火	6年生を送る会	16:00
10日	水	安全の日 クラブ	15:20
11日	木		15:20
12日	金		15:20
13日	土		
14日	日		
15日	月	全校集会	16:00
16日	火		16:00
17日	水	卒業式練習 通学班会 職員研修	15:20
18日	木	卒業式練習	16:00
19日	金	卒業式予行	16:00
20日	土	春分の日	
21日	日		
22日	月	卒業式練習	16:00
23日	火	卒業式準備 大掃除	16:00
24日	水	卒業証書授与式	11:30
25日	木	給食最終日	16:00
26日	金	修了式 職員会議	11:30
27日	土		
28日	日		
29日	月	学年末休業日	
30日	火	学年末休業日	
31日	水	学年末休業日	

※下校時刻が普段と違う日があります。ご確認ください。

2月の行事から

— 知・徳・体のバランスのとれた児童の育成 —

< 参観日・授業参観 > ~勉強の様子を観ていただきました~

1月29日(金)に、参観日で授業参観・愛育会講演会を行いました。授業参観は、1年生は小藤教諭が算数「たすのかな ひくのかな」、2年生は正村講師が道徳「なまけにんじゃ」、3・4年生は瀧田教諭が学活「6年生を送る会について」、5・6年生は山田教諭が道徳「杉原千敏〜大勢の人の命を守った外交〜」を行いました。



本年度から新学習指導要領を本格実施しています。矢神小学校でも「主体的・対話的で深い学び」になる授業を目指して頑張っています。授業のスタイルも「教え込み」「一斉授業」ではなく、岡山型学習のスタンダード授業5の一步先(学習問題を自分事として捉えさせる、考えを広げ深めさせる、問題解決の過程を振り返らせる、学習内容を整理、確認させる、学習の成果を自覚させる)の授業の実践に取り組んでいます。授業の中で子ども同士が関わりをもち、子どもたちが意欲を持って課題を解決していくような主体的な姿が見える授業にするよう取り組んでいます。3月2日(火)に、今年度、最後の参観日を持ちます。子ども達がいきいきと主体的に活動する授業になるよう今後も授業改善に努めていきます。

< 愛育会教育講演会 > ~命のバトンをつないで~

授業参観の後に、愛育会主催の教育講演会をもちました。県の「心と命のサポート事業」で、助産院ミントハウスの東森二三子さんに来ていただきました。5・6年生児童と保護者で講演を聴きました。演題は「命のバトン」でした。東森さんは、助産師として、多く命の誕生の場面に携わってこられた経験をもとに「命の大切さ」「命を引き継ぐことの大切さ」を訴えられました。5・6年生の児童に向けて、「みんなの命は、お父さん、お母さんから受け継いだかけがいのない命。お父さん、お母さんの前には、おじいちゃん、おばあちゃんがいる。そのまた前には、ひいじいちゃん、



ひいばちゃんがいる。そのまた前にも、、、みんなの命は、大勢の人の命を引き継いでいる。その命を大切に、またみんなが命をつなげていってほしい。それは、命のバトンだ。大切な責任を負っている。決して、みんなが友だちをいじめ、友だちの命のバトンを奪うことがあってはいけません。自分のバトンを落とすこともあってはいけません。これからも周りの人に感謝して、生きてほしい。みんなは、生きているだけで100点」と話されました。

感動的な講演でした。その内容をうまくお伝えすることはできませんが、子どもたちも保護者の方も、そして私たちも心をうつお話を聴かせていただきました。

< 最後に児童の感想を載せます >

~私は、東森さんの話を聴いて感動しました。特に、私たちが生まれたのは奇跡にちかいたという話です。祖先がもし違う相手を選んでいたら、ここに私がいなくて考えると、ゾッとします。金子みすゞさんの詩の中にある「みんなちがってみんないい」という言葉をあらためて考えると、すごい言葉だな、と思います。みんなをつないでもらった私の命を大切にしたいです~



< スピーチタイム > ~自分の気持ちや考えを発表する力がついています~

自分の思いや考えを「人前で堂々と伝える力」をつけようと、今年度も5回、水曜日の全校集会で「スピーチタイム」をもうけました。全校児童が一人1回、順番にスピーチをしています。子ども達にとっては大変緊張する時間になっていますが、このような経験を積むことで、将来に生きる表現力が身に付いていくものと思っています。ここ数年取り組んでいる成果が、子ども達の発表に表れています。自分で書いた絵をテレビに映して発表する子ども、自分で撮った写真をテレビに映し



て発表する子ども、具体物を提示して発表する子どもなど、聞く人を惹きつけるような発表の仕方を工夫しています。また、よく練習して、原稿を見ずにはっきりとした声で発表もできるようになってきています。発表を聴く児童も、「うなずきながら聴く子」も増えてきました。聴いた後の感想発表も積極的にできる子どもも増えてきました。継続は力だと感じています。

私たち大人も人前で、しゃべるのは苦手だという人が多いと思います。人前で話すのは緊張しますが、厳しい将来を生ていかないといけない子ども達です。来年度も、引き続き取り組んでいきます。



< 新1年生体験入学 > ~新1年生、なかよくしようね~

2月5日(金)、新1年生の体験入学がありました。令和3年度の新1年生は3名です。

1年生の7人の子ども達が新1年生への歓迎の気持ちを込めて「しんいちねんせいようこそこの会」をしました。会では、歌を歌ったり、ダンスをしたり、一緒にゲームをしたりしました。7人の1年生は、初めにあやとりやお手玉を紹介しました。また、1年生の手作りの釣り堀で、新1年生が磁石がついた釣り竿で魚をつって遊びました。3人の新1年生も磁石を上手に使って、たくさん魚がつかれて大喜びでした。また、1年生お得意のダンスも披露しました。「ドラえもん」のダンスです。キレイなダンスに新1年生もびっくりしたようです。会の最後には、あさがおの種や折り紙を絵をかいた袋に入れて新1年生にプレゼントしました。

7人の1年生は、進行役、説明役などの役割を分担して、上手に楽しい会をしました。新1年生の4月の入学を楽しみにしている気持ちがいっぱい感じられる温かな会ができました。3人の新1年生も、やさしいお兄さんお姉さんが待っていてくれる、と感じたのではないのでしょうか。

令和3年度の矢神小学校の入学式は4月12日(月)です。3人の新1年生を迎えるのがとても楽しみです。新1年生の皆さん、待っていますよ。



< 一人が宝 しゃわせつなく 矢神っ子 > ~少人数の良さをいかして~

今号が今年度の最終号となりました。学校だよりや学校ホームページで、子ども達の活動の様子をお伝えしてきましたが、矢神小の子ども達の良さや頑張りが十分にお伝えできたのか、不安です。

矢神小学校が複式校になって丸7年が過ぎました。児童数は、今年度26名ですが、一人一人の子どもが大切な地域の宝物です。人数が少ないからこそ、大きな学校に負けないようにできることも多くあります。例えば、子ども達一人一人の役割や出番が多くある、地域の方と深い交流ができる、一人一人によく大人の目が届くなどです。

今年度から新学習指導要領の完全実施で、「週2時間の外国語」(高学年)、「特別の教科 道徳」、「プログラミング」の授業を実践しています。「主体的・対話的で深い学び」になるように授業改善も続けています。

今後、ふるさとを愛する子を育てるために、より一層の「ふるさとキャリア教育」も充実しないとけません。また、GIGAスクール構想により、一層のICT教育を進めていかないとけません。世の中の急速な変化(国際化、情報化、少子高齢化等)に対応できる人を育てていくことが一層、学校に求められます。

矢神小学校教育目標「一人が宝 しゃわせつなく 矢神っ子」の達成に向けて、今後も教育活動を充実していきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも矢神小学校の教育に対しまして、温かいご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

1年間、ご支援・ご協力ありがとうございました。



